



質問順 3 番

AM 8:34 後



令和 6 年 2 月 2 6 日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 (8 番)

中尾 理明



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により質問の通告をいたします。

記

質 問 事 項	質 問 要 旨 (具体的に)	質問の相手
1 町の保健・医療・福祉施策について	(1) これまで新型コロナ予防接種は無料で実施されてきたが、新型コロナ感染症が 5 類移行に伴い、令和 6 年度は 65 歳以上の町民対象に秋から冬にかけて年 1 回の予防接種として実施されるとのことである。この予防接種の町民負担は、インフルエンザ予防接種と同様なのか伺います。	町 長
	(2) 新型コロナに感染した場合の公費負担が、3 月末で終了し、その後は高額な薬代の負担増が懸念されている。あるメーカーの薬は、5 日分で薬価が 5 万 2 千円、3 割負担の方の負担額は、1 万 5 千円以上となる。高額で薬をあきらめるケースが想定されるとして、日本感染症学会や日本化学療法学会など 3 学会が、公費支援継続を求める国への要望書を提出している。にもかかわらず武見厚労大臣は、「原則通常に戻す」と国会答弁を行っている。しかし、第 10 波の感染拡大が懸念されている状況の中だからこそ公費支援継続が望まれていると考える。このことについての町長の所見を求めると共に、公費継続がなされない場合、町単独でコロナ治療に限った薬代負担に対する補助制度を創設し、町民の命と暮らしを支援すべきではないかと考えるが、所見を伺います。	町 長
	(3) 高齢者で加齢性難聴(老人性難聴)生活上困難を抱える人、家族は少なくない。60 歳台後半頃から症状が現れ	町 長

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質問の相手
1 町の保健・医療・福祉施策について	<p>る人が多く、80歳になると男性8割以上、女性では7割以上の人が難聴を示すと言われている。また、難聴状態が続くと認知症の一因にもなると言われている。全日本年金者組合が、今年1月4日時点で、軽度・中等度の高齢者などに補聴器助成を行なう自治体が、全国で239あると調査結果を伝えている。2021年厚労省も加齢性難聴への「取り組み強化の検討が求められる」と提言している。県内でも1市8町が補助制度を実施している。若桜町も認知症予防、介護予防のための積極的施策として、加齢性難聴への補助制度を創設すべきであると考えているが、所見を伺います。</p>	町 長
2 騒音測定器設置に向けた低空飛行訓練調査について	<p>中四国防衛局は、昨年11月27日~12月1日八頭町八東庁舎で騒音測定器設置に向けた調査を実施したが、若桜町でも、3月11日~15日、JA若桜支店の2階で同様の調査を実施すると聞いている。5日間程度の調査では十分な結果は得られないと考えるが、所見を伺います。</p>	町 長
3 自衛隊への個人情報提供について	<p>防衛省の自衛官、自衛官候補生の募集に当たり、自治体への協力要請が強化されていると伝えられている。国は住民基本台帳法第11条1項による閲覧請求できるとの定めを根拠に4情報「氏名」「住所」「生年月日」「性別」などの情報提供を求めているといわれる。しかし、私は、高校を卒業する18歳の町在住青年を対象にした個人の情報提供は、個人情報保護法に反し、プライバシー権の侵害となるのではないかと考えるが、町は、どのように防衛省・自衛隊に情報提供をされているか伺います。</p>	町 長
4 町長の施政方針について		町 長